

グラフィックデザイン 学外連携プロジェクトケーススタディー

愛知万博地球市民村地雷廃絶展示デザインと 池田動物園デザイン

倉敷芸術科学大学
芸術学部映像デザイン学科助教授
大林 誠

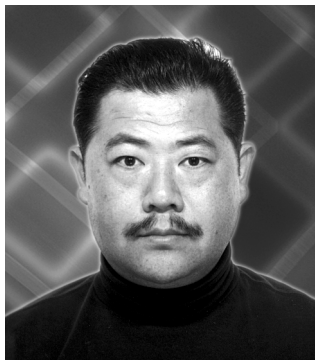
愛知万博地球市民村地雷廃絶展示デザインは、約1年余りの準備期間の後、2005年7月の一ヶ月間の展示を無事終了いたしました。
(制作物は、会場内展示物B1パネル35枚、Tシャツ、学生アニメ作品(5分、3本)、地雷廃絶ビデオ編集、バーチャル地雷原のシステム開発)

池田動物園デザインは、2004年4月から3年グラフィックゼミのグループワークとして取り組み広報、サイン、店舗オリジナル開発、ボランティアの4分野から11月デザイン提案を行い、2005年8月園内改装、パンフレットデザインと進んできた継続コンサル学外連携プロジェクトです。

2つの学外連携プロジェクトともに、企画立案、業者説明、制作管理、コスト、スケジュール、内容確認、コピーライトなど、単にグラフィックデザイン開発だけでなく、事業計画全体におけるデザインコンサルティング作業の比重が重い傾向にあります。

プロフィール

グラフィックデザイナー(ブランド、サイン、パッケージ等のデザインシステム開発を主に活動)
1954年福岡県に生まれ、1978年武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒
GK Graphics、Landor Associatesを経て独立、2003年倉敷芸術科学大学教員 現在に至る
日本グラフィックデザイナー協会 岡山地区代表幹事 e-design委員会委員
倉敷ブランド設定審議会委員



大林 誠